

# JAとりで通信

第319号 2017年4月28日



発行 JAとりで総合医療センター

〒302-0022 茨城県取手市本郷2-1-1  
TEL 0297(74)5551 (代)

E-mail : toride@medical.email.ne.jp 発行人 新谷 周三  
URL http://www.toride-medical.or.jp/

## LEADER

新 リーダーに

聞く



臨床工学部 部長  
高島 賢治

安全管理を徹底

「病院で働きたい、人の役に立つ仕事に就きたい」との思いで進学しました。学校を卒業した年に臨床工学科の国家試験が始まり、経過処置制度により平成5年に受験し資格を取得しました。

臨床工学技士 (Clinical)

生命を維持するために使用する医療機器（人工呼吸器、透析装置、ベースメータ等）の管理や運転を主な業務とした職種です。普段はME（エムイー）と呼ばれることが多いです。

医療機器の安全管理は徹底して行っており、中央管理の約1000台の医療機器を年に2回定期点検しています。医療ガス安全管理委員会の責任者も臨床工学技士が担っており、院内の1500カ所以上のアウトレット（医療ガス接続口）の点検も技士が行っています。また夜間や休日の救急等にも対応するため、当直勤務も行っています。

目配り、気配り、心配りは、医療従事者として特に大切です。今後も、患者さんやスタッフから信頼される臨床工学技士を目指していきたいと思います。

休日の楽しみといえど、これまで「温泉」でしたが、これから「アクアテラリウム」に挑戦し、自分なりの癒しの水槽を創つてみたいです。

当院では適応があればレーザー治療も行っていますのでご相談ください。

## 常勤医、104名の体制に

新採用者76名が出席

平成29年度入会式を挙行



辞令を交付する新谷院長

平成29年度の入会式が、4月1日（土）に新棟3階の講堂で行われました。式には医師37名、看護師30名を含む76名の新採用者が出席。新採用者一人一人の名前が呼ばれた後、辞令が交付されました。

新谷院長は「今年は常勤医が初めて100名を超えて、104名になります。若手の医師を含めて、当院のために尽力をつくしていただきたい。看護師など各職種のみなさんは、専門家として、また社会人としての第一歩を踏み出します。辛い場面にも出会うと思いまが、新人としてのフレッシュな気持ちを失わずに頑張っていただきたい」



平成29年度入会式

と訓示を述べました。

入会式後の院長講話では、厚生連病院としての当院の特徴や理念、当院が追及する三つの幸せ（患者さんの幸せ、地域の幸せ、職員の幸せ）などについて、スライドを使い講演が行われました。

と訓示を述べました。  
入会式後の院長講話では、厚生連病院としての当院の特徴や理念、当院が追及する三つの幸せ（患者さんの幸せ、地域の幸せ、職員の幸せ）などについて、スライドを使い講演が行われました。

花粉症とは、体内に花粉（アレルゲン）が入ってきたとき、それを排除しようとする、免疫反応によって起こる一連の症状のこととします。代表的な症状はくしゃみ・鼻水・鼻づまりの三大症状に加え、目のかゆみなどがあります。

①花粉症の原因

花粉症とは、体内に花粉（アレルゲン）が入ってきたとき、それを排除しようとする、免疫反応によって起こる一連の症状のこととします。代表的な症状はくしゃみ・鼻水・鼻づまりの三大症状に加え、目のかゆみなどがあります。

②予防法について

ストレスや過度な疲労、寝不足、暴飲暴食など体に大きな負担がかかると、花粉症の症状もひどくな

③治療法について

花粉症の治療法にはヨーグルトや甜茶（「てんぢや」といった食品によるものやアロマなどがあります。これらの効果には個人差があるほか、ほとんどの期に大きな負担がかかると、花粉症の症状もひどくな

どがあります。空気中に飛散したスギ・ヒノキ・イネなどの花粉が鼻の粘膜に付着し、それらがアレルゲンとして認識されると体内に抗体が作られ、マスト細胞という名の細胞とくっつきます。その後、再びアレルゲンが侵入すると、このマスト細胞からヒスタミンなどのアレルギー誘発物質が放出され、鼻の粘膜に充血やむくみが生じ、症状を引き起こします。

外出時は帽子やマスク、メガネ等を着用して、花粉の付着や吸い込みを防ぎます。

帰宅後には玄関先で頭や

衣服をよく払い、家の中に入ることを心がけます。

花粉を持ち込まないようにしましょう。

花粉症とは、体内に花粉（アレルゲン）が入ったとき、それを排除しようとする、免疫反応によって起こる一連の症状のこととします。代表的な症状はくしゃみ・鼻水・鼻づまりの三大症状に加え、目のかゆみなどがあります。

④花粉症の原因

花粉症とは、体内に花粉（アレルゲン）が入ったとき、それを排除しようとする、免疫反応によって起こる一連の症状のこととします。代表的な症状はくしゃみ・鼻水・鼻づまりの三大症状に加え、目のかゆみなどがあります。

⑤治療法について

花粉症の治療法にはヨーグルトや甜茶（「てんぢや」といった食品によるものやアロマなどがあります。これらの効果には個人差があるほか、ほとんどの期に大きな負担がかかると、花粉症の症状もひどくな

どがあります。空気中に飛散したスギ・ヒノキ・イネなどの花粉が鼻の粘膜に付着し、それらがアレルゲンとして認識されると体内に抗体が作られ、マスト細胞という名の細胞とくっつきます。その後、再びアレルゲンが侵入すると、このマスト細胞からヒスタミンなどのアレルギー誘発物質が放出され、鼻の粘膜に充血やむくみが生じ、症状を引き起こします。

外出時は帽子やマスク、メガネ等を着用して、花

粉の付着や吸い込みを防ぎます。

帰宅後には玄関先で頭や

衣服をよく払い、家の中に入ることを心がけます。

花粉を持ち込まないようにしましょう。

外出時は帽子やマスク、メガネ等を着用して、花

粉の付着や吸い込みを防ぎます。

帰宅後には玄関先で頭や

**糖**  
糖尿病はインスリンの働きが低下し、摂取したブドウ糖が処理しきれなくなつて高血糖になります。その機序として、インスリンの分泌が少なくなること（分泌不全）と、インスリンの効き目が悪くなること（抵抗性増大）の両方

製剤の使用器具（デバイ

**イ**  
糖尿病はインスリンの働きが低下し、摂取したブドウ糖が処理しきれなくなつて高血糖になります。その機序として、インスリンの分泌が少なくなること（分泌不全）と、インスリンの効き目が悪くなること（抵抗性増大）の両方

**イ**  
糖尿病はインスリンの働きが低下し、摂取したブドウ糖が処理しきれなくなつて高血糖になります。その機序として、インスリンの分泌が少くなること（分泌不全）と、インスリンの効き目が悪くなること（抵抗性増大）の両方

糖尿病はインスリンの働きが低下し、摂取したブドウ糖が処理しきれなくなつて高血糖になります。その機序として、インスリンの分泌が少くなること（分泌不全）と、インスリンの効き目が悪くなること（抵抗性増大）の両方

糖尿病はインスリンの働きが低下し、摂取したブドウ糖が処理しきれなくなつて高血糖になります。その機序として、インスリンの分泌が少くなること（分泌不全）と、インスリンの効き目が悪くなること（抵抗性増大）の両方

## 糖尿病について

### 糖尿病の治療 (7) 薬物療法（注射薬）

内分泌代謝内科部長  
糖尿病センター長 今井 泰平

**イ**  
糖尿病はインスリンの働きが低下し、摂取したブドウ糖が処理しきれなくなつて高血糖になります。その機序として、インスリンの分泌が少くなること（分泌不全）と、インスリンの効き目が悪くなること（抵抗性増大）の両方

**イ**  
糖尿病はインスリンの働きが低下し、摂取したブドウ糖が処理しきれなくなつて高血糖になります。その機序として、インスリンの分泌が少くなること（分泌不全）と、インスリンの効き目が悪くなること（抵抗性増大）の両方

**イ**  
糖尿病はインスリンの働きが低下し、摂取したブドウ糖が処理しきれなくなつて高血糖になります。その機序として、インスリンの分泌が少くなること（分泌不全）と、インスリンの効き目が悪くなること（抵抗性増大）の両方

**イ**  
糖尿病はインスリンの働きが低下し、摂取したブドウ糖が処理しきれなくなつて高血糖になります。その機序として、インスリンの分泌が少くなること（分泌不全）と、インスリンの効き目が悪くなること（抵抗性増大）の両方

**イ**  
糖尿病はインスリンの働きが低下し、摂取したブドウ糖が処理しきれなくなつて高血糖になります。その機序として、インスリンの分泌が少くなること（分泌不全）と、インスリンの効き目が悪くなること（抵抗性増大）の両方

が関与しています。  
インスリンを直接増やす薬としてインスリン製剤と、インスリン分泌を促進するG L P - 1受容体作動薬があります。現在いずれも注射薬しかありません。

今日は糖尿病の薬物療法（注射薬）についてお話しします。

**●バイアル製剤（インスリ**  
**ン注射器を使用）**  
**●カートリッジ製剤（ペニ**  
**型注入器とカートリッジを**  
**使用）**

があります。さらに効果発現・  
持続時間の違いにより、超速効型、速効型（R）、中間型（N）、持効型、混合型／配合型に分けられます。

1回注射）、従来法（混合型／配合型を1日2回注射）、B O T（経口薬を併用しつつ持効型を1回注射）などがあります。

ス）の違いにより、  
ス）の違いにより、

妊娠中などでインスリン療法が必要となります。

インスリン療法には、強化療法（食事の血糖上昇に合わせて、毎食前に超速効型ないし速効型を3回と、1日を通じて効く持効型を1回注射）、従来法（混合型／配合型を1日2回注射）、B O T（経口薬を併用しつつ持効型を1回注射）などがあります。

低血糖を来す危険が少なく、体重減少などを期待できます。

インスリンの替わりではないため、インスリ

ン依存状態にある1型糖尿病では使用できません。

## 院内保育所から

### お誕生日おめでとう

伊藤 友希（いとうともき）くん

2さい

平成27年4月11日生まれ



食べることや、歌とダンスが大好きで、いつもかわいいらしい笑顔をみせてくれるね。これからもたくさん食べて、たくさん遊んで、その素敵な笑顔をみせてね。お誕生日おめでとう。

・・・お母さんより

### 水本 龍誠（みずもとりゅうせい）くん

2さい

平成27年4月28日生まれ



最近は電車やバスなどの乗り物に興味がでてきて、見つけるたびに教えてくれます。お話もたくさんしてくれます。いろいろな事に興味を持ってね。お誕生日おめでとう ・・・お母さんより

### 池田 義直（いけだ よしなお）くん

3さい

平成26年4月28日生まれ



### 池田 百合子（いけだ ゆりこ）さん

3さい

平成26年4月28日生まれ



プリンセスと戦隊ヒーロー、どちらも大好き。「ママ、踊ろう」という日もあれば、「一緒に戦おう！」というお誘いもあり。自己主張が増えているけど、それも成長の証。ずっと明るい笑顔の活発な女の子でいてね。 ・・・お母さんより

## 外来休診のお知らせ

(平成29年4月20日現在)

### 内科

富満医師 5月29日(月)  
飯塚医師 5月12日(金)  
龍神医師 5月25日(木)  
5月30日(火)

### 整形外科

鈴木医師 6月8日(木)  
青山医師 6月2日(金)  
6月23日(金)

### 眼科

外来休診 4月27日(木)  
外来休診 5月20日(土)

チャームポイントはふくふくの頬。保育園に入つて半年、随分と言葉が増えました。ブロックや動物のフィギュアを並べて遊ぶのが好き。戦隊ヒーローも大好き。憧れのヒーローのように、強くて優しい男の子を目指そうね。 ・・・お母さんより